

CASBEE神戸ver.2

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.2

{使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.2 / CASBEE-BD_NC_2014(3.1)}

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	港湾技能研修センター(神戸) 実習	階数	地上2F
建設地	神戸市中央区港島9丁目1番	構造	S造
用途地域	準工業地域、神戸市臨港地区内商業	平均居住人員	40人
地域区分	6地域	年間使用時間	190時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年4月 予定	評価の実施日	2017年7月7日
敷地面積	61,516 m ²	作成者	㈱梓設計 秋吉敏信
建築面積	1,869 m ²	確認日	
延床面積	2,328 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	84%
③上記+②以外の	84%
④上記+	84%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安を示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

音環境	2.1
温熱環境	2.6
光・視環境	2.8
空気質環境	4.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

機能性	2.8
耐用性	2.9
対応性	3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.0

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

水資源	3.4
非再生材料の	2.7
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

地球温暖化	3.6
地域環境	2.5
周辺環境	2.7

3 CASBEE神戸の重要項目		
<h4>バリアフリー計画</h4> <p>Q-2/1.1.3 バリアフリー計画</p> <p>3.0</p>	<h4>建築物の耐震性等</h4> <p>Q-2/2.1 耐震・免震</p> <p>3.0</p> <p>Q-2/2.4 信頼性</p> <p>2.6</p>	<h4>まちなみ・景観への配慮</h4> <p>Q-3/2. まちなみ・景観への配慮</p> <p>3.0</p>
<p>配慮の概要</p> <p>内部空間は段差のないフラットな計画とした。</p>	<p>配慮の概要</p> <p>・鉄骨造の単純ラーメン架構を採用し、整形でバランスの取れた構造計画とした。 ・十分な荷重条件を設定した。</p>	<p>配慮の概要</p> <p>・シンプルな形態・色彩とし、隣地における同種建物合わせた全体での意匠計画となるよう配慮した。 ・神戸港カラー作戦に準じ、アクセントカラーの青に関しては、サインで使用する事とした。</p>
<p>その他の配慮事項</p>		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される